

平成30年度 第2回吉川区地域協議会次第

日時：平成30年5月12日（土）
午後1時00分から
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 地域活動支援事業提案団体によるプレゼンテーションについて

(2) その他

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

7 閉 会

平成30年度 地域活動支援事業提案一覧

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
吉川区	1	4月9日	竹直地区公共交通待合所を起点とする集落活性化事業	竹直町内会	-	-	-	<p>(目的) 公共交通待合所を起点に、地域の人々が改めて町内を認識し、企画や打ち合わせ会議で世代を超えた人と人の交流、共同作業を通じて融和と連帯感を醸成する。 (期待する効果) 子供たちが企画から参加することでこの地域に対する愛情と認識を持ってもらい、各種団体個人が一緒になって作業をすることで連帯感が生まれ、今後の町内環境維持と美化につなげていく。 吉川区の入口である竹直で、上杉謙信ゆかりの地大乗寺、天林寺、顕法寺等を紹介する事により、区内に入っていく人たちに興味を持ってもらい、吉川区への交流人口を増やしていく一助となる。</p>	<p>①バスの待合所に掲示物をとのことですが、具体的な明細元図面をお示しいただけますか。 ②上杉謙信ゆかりの地を紹介するとありますが、区内の文化財等を紹介する図面を掲示する計画でしょうか。 ③掲示物を見学するためには、自動車の駐車場確保が必要だと思いますが可能ですか。 ④事業の目的に、公共交通待合所を起点にとありますが、なぜ公共交通待合所を起点としているのでしょうか。現在の公共交通利用者数を把握されていますか。今後も公共交通の利用者数の増加は望まないのでしょうか。 ⑤提案書からは何を目的に実施するのか明確に理解できませんでした。事業内容を整理して、教えてください。 ⑥コンテナハウスの仕様(外寸及び内寸等)を教えてください。 ⑦コンテナハウスを待合所近くに設置し、そこで打合せや会議を行うということでしょうか。打合せや会議は集落集会所で行えないのでしょうか。 ⑧待合室の内側にもPR看板を設置するとありますが、どれほどの人が見てくれると考えられていますか。関連して、バス停の利用人数は1日に何人くらいで、利用するのは、主に学生、老人、社会人等、どのような人でしょうか。 ⑨バス停前の県道を通る車両台数は1日に何台くらいでしょうか。また、それは区内の市民が大多数なのではないでしょうか。 ⑩「設置しました」で終わってしまい、提案からは発展性が感じられませんでした。掲示物の差し替え以外に、何か方策はお考えですか。 ⑪プランターの花等はどのようにする予定でしょうか。各団体に検討するとのことですが、分かることがあれば教えてください。 ⑫交通量の多い環境であるが故に、訪れる皆さんの安全・安心対策はお考えでしょうか。例:駐車場確保、盗難対策、施設管理、自然災害対策等。→考慮している対策等を教えてください。(町内会管理、定期巡回、生産組合委託等) ⑬展示、掲示物の管理運営体制はどのようにお考えでしょうか。(町内会管理等) ⑭今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	※平成30年5月10日付け、提案取下げ届提出
	2	4月12日	歴史と文化のまちづくり事業	歴史と文化のまちづくり研究会	-	1,037	930	<p>①よみがえる元禄元年のふるさと展 元禄9年頭城郡下美守郷村絵図を複製し展示公開することにより、地域の成り立ち、歴史等を継承する。 ① 写真・絵画展(①と同時開催) アマチュア写真家・画家が作品の発表の場、夢と生きがいを伝える場、地域住民が写真・絵画を鑑賞する場とする。 ②よみがえる元禄9年村絵図冊子出版 村絵図を出版することで江戸時代の村落の学術研究に役立てる。 ③入河沢城址遊歩道の整備 入河沢城址遊歩道を整備し、地域住民の憩いの場、ウォーキングなどの運動の場として利用する。 ④語り継ぐ歴史シリーズの発行、歴史・民話伝承講座 戦前まで語り継がれてきたと思われる伝承・民話が、戦後になり途切れつつあり、失われようとしている。高齢者が子供の頃、特に戦前に聞いていた地域の伝承・民話を集め、記録することで次世代に継承していく。</p>	<p>①本事業は、昨年度(平成29年度)の入河沢城址関連の継続事業と考えてよいですか。 ②元禄9年村絵図約39枚とありますが、39枚の集落名等の明細を教えてください。 ③入河沢城址遊歩道の整備とありますが、寺沢の池から入河沢城址までの遊歩道を整備する距離はどのくらいでしょうか。 ④語り継ぐ歴史シリーズとして100冊発行予定とありますが、伝承・民話の内容は入河沢城址のみですか、それとも吉川区全集落にかかるとはなすか。 ⑤語り継がれる民話や伝承の調査収集範囲は集落内のみですか、それとも吉川区全域或いは上越市全域のいずれでしょうか。 ⑥作り上げられた村絵図・歴史本・民話集など、将来的に善徳寺にずっと展示または保管される予定ですか。それとも市の資料館などに保管を考慮しているのでしょうか。 ⑦他の提案事業に比較して自主財源が少ないように感じましたが、財源確保の手立てはないでしょうか。 ⑧「村絵図冊子」は、頁数、色、画像数等において、どの程度の内容になる見込みですか。一想定されている見込頁数、配布先、頒布方法を教えてください。 ⑨入河沢城址への道は、「遊歩道」、「ウォーキング」の場として期待できるとありますが、地形的見地を踏まえて、その理由を教えてください。 ⑩立地環境的には険しい状況にあり、自然災害も危惧されます。訪問者に対する安全対策はどのようにお考えでしょうか。 ⑪「アマチュア写真家・画家が自己作品の発表の場」とありましたが、具体的には、どのような方々が発表するのでしょうか。その方々の発表内容、規模、過去実績等が分かれば教えてください。 ⑫継続事業として提案する団体や毎回提案している団体にお訊ねします。補助金のみでの事業実現ではなく、自己資金を用意する努力はされていますか。また、毎年申請するのではなく、隔年とするなどの努力はできませんか。 ⑬今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①入河沢城址の整備と村絵図複製が継続になりますので継続事業と考えていただいて結構です。 ②大賀、山直海(岩沢)、米山、福平、長坂、道之下、入河沢、川谷、石谷、名木山、高沢入、坪野、尾神、天林寺、川崎、土尻、泉谷、吉井下小沢、赤沢、泉、小苗代、東鳥越、片田、下町、顕法寺、下深沢、中谷内、大乗寺、山方、田尻、西野島、長沢、神田町、梶、下八幡、内藤子、手嶋、湯川水郷村々 ③寺沢の池から東尾根まで約250mです。プラ杭で簡易階段の設置とチェーンの手摺を設置する予定です。 ④各集落に残っている伝説と昔話(民話)を聞き取りたいと思います。あるなしに関わらず吉川区全体を対象にする予定です。 ⑤各集落に残っている伝説と昔話(民話)を聞き取りたいと思います。上越市全域は無理ですので吉川区全体を対象にしたいと思います。 ⑥展示用村絵図は善徳寺経堂で随時展示・保管の予定です。希望があれば出前展示も考えています。村絵図冊子は関係町内会、図書館に寄贈の予定です。伝説・昔話(民話)本は、関係町内会、図書館に寄贈の予定です。また、歴史と文化のまちづくり研究会のホームページに掲載の予定です。 ⑦12名の有志が結成した任意団体です。年会費1,000円で運営しているため自主財源の捻出が困難であります。有償村絵図冊子の販売単価を上げれば財源は若干捻出できますが、購入者がいるか心配です。多数の売れ残りがあるのでどの程度でもできます。 ⑧A3版、カラー印刷、38村と湯川水郷村々の39頁の予定です。掲載村の町内会と図書館分約50部は寄贈の予定です。残り100部は希望者に販売の予定です。 ⑨若干急斜面の場所がありますが、ウォーキングというか散策に適していると思います。森林浴の効果もあると考えます。入河沢城址にはモミジが多く生育しています。秋には赤・黄色に彩られますので、城址への遊歩道の外にモミジコースの遊歩道も整備し、地域住民の憩いの場を目指したいと思っております。 ⑩南尾根曲輪入口に設置している説明板には注意喚起を掲げています。また崖地横断部等の現地には、転落防止のためのチェーンの手摺を設置してあります。 ⑪現在想定しているのは、原之町在住のアマチュア写真家と言うよりは、写真愛好家と言ったほうがよいでしょうか。石野武安氏、花を中心に撮影しておられ、第四柿崎支店で展示された経験をお持ちです。そして板倉区在住で山岳写真などを撮られ金子真一氏を想定しています。趣味の範囲で写真撮影や絵を描いている方の発表の場になることを期待しています。 ⑫吉川区でも顕法寺城・町田城・六角峰城は、文献にも出てくる山城で多くの人が知っています。一方入河沢城は、山城マニアと地域の一部の住民が知るのみで山城ではありません。しかし、入河沢城の整備に入ると、山城研究者から残存遺構の状態が上越地方屈指の山城であると聞きました。文献が発見されれば新潟県指定史跡を受けることも可能な山城であるとのことですが、残念ながら文献は見つからず、今後は土地所有者の理解が得られれば上越市指定文化財の申請を検討していきたいと考えています。歴史文化の振興は、生活していく上で不可欠なものではありません。しかし、古きよきものと新しいものが共存し、それらを見て触れて学ぶことにより、郷土愛を持つ次世代を担う子どもたちが育つものと考えられますので、是非継続して実施したいと考えています。なお、歴史文化の振興について地域住民から理解を得ることは簡単なことではなく、自主財源を確保することは困難で地域活動支援事業に頼ざるを得ないことについてご理解を賜りますようお願い申し上げます。 ⑬採択申請額に対し40%も減額になると自主財源確保が難しくなりますので、事業実施ができなくなるものと考えます。何れにしても採択額を見て判断をする形になると思いますので、この点ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
	3	4月16日	吉川中学校吹奏楽部 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会	-	1,030	1,000	<p>吉川中学校吹奏楽部は、吹奏楽コンクールに参加するだけでなく、「越後よしかわやっただれ祭り」「越後よしかわ酒まつり」などの地域活動に積極的に参加してきた。生徒の演奏を楽しみにイベントに参加する人も多く、イベントによる地域活性化に大きく貢献していると思われる。しかし、使用している楽器は老朽化しており、修理できない状態になっている。そのため、生徒の素晴らしい演奏が今後も継続でき、地域貢献できるよう、楽器を購入したい。新しい楽器を使用することで、より質の高い演奏にもつながり、地域住民を楽しませることができると考えられる。</p> <p><購入する楽器> チューバ×1台 ユーフォニウム×1台</p>	<p>①吹奏楽部の現在(4月)の部員数は何人ですか。そのうち、1年生は何人ですか。また、その現在の担当楽器を教えてください。</p> <p>②本件の申請は、従来、別のルートでの楽器購入、助成で行うべき案件ではないでしょうか。地域活動支援事業に提案されたのは、なぜでしょうか。</p> <p>③「地域と積極的に関わり…」とありますが、義務教育の中学生の部活にどれほど地域住民が手を出せるのでしょうか。問題は無いのですか。</p> <p>④楽器購入の財源確保は、後援会だけで厳しいとしても、PTAや部員保護者会などに相談すること、各種イベントの主催者側に寄付を募ることなど、他の方策により考えられないでしょうか。</p> <p>⑤吉川中学校後援会構成員が69人とありますが、会則第3条による会員数のことでしょうか。</p> <p>⑥今後も生徒の活動支援のために継続して「地域活動支援事業」を活用するお考えですか。</p> <p>⑦吉川中学校後援会会計は吉川区住民の拠出金などで支えられているものと思います。収支決算書をご提示いただけますか。</p> <p>⑧現在、吹奏楽部が所有する楽器の種類、台数及びその状態を教えてください。また、そのうち、通常に演奏できる楽器はどのくらいありますか。</p> <p>⑨過去に「地域活動支援事業」で取得した楽器の管理簿があれば、ご提示いただけますか。</p> <p>⑩過去に「バリトンサクソ」を地域活動支援事業で購入していますが、現在も演奏者はいますか(一使用されていますか)。</p> <p>⑪後援会として各クラブサークルに対し、人、金、物等、どのような支援をされていますか。</p> <p>⑫チューバ、ユーフォニウムが「修理不可能」な理由を教えてください。</p> <p>⑬今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①18人です。1年生10人です。フルート2人、クラリネット3人、サクソ3人、トランペット2人、トロンボーン2人、ホルン2人、ユーフォニウム1人、チューバ1人、パーカッション2人です。</p> <p>②提案書にて説明のとおり、市の予算では購入いただけません。</p> <p>③学外活動も重要な教育活動です。</p> <p>④吉川区の方々から後援会は支えられています。ご理解いただけたと思います。</p> <p>⑤後援会の会員は、吉川中学校区内の世帯主です。役員会は会長、副会長、理事、会計監事、幹事、代議員(各集落代表1名)からなり、69人になります。</p> <p>⑥必要により活用を考えています。</p> <p>⑦収支決算書をご確認ください。</p> <p>⑧フルート、ピッコロ5台、クラリネット8台、サクソ5台、トランペット5台、ホルン3台、トロンボーン2台、ユーフォニウム4台、チューバ2台です。ほとんどの物が昭和のときに購入され、半分以上は老朽化しており、吹くことができません。</p> <p>⑨管理簿は現在、探しております。過去に申請して購入したものは、バリトンサクソ、ティンパニとハーモニーディレクターです。</p> <p>⑩使用しています。今年吹奏楽コンクールに出場する予定です。</p> <p>⑪各部活動の備品、遠征費、消耗品費などに活用されています。吹奏楽部では、楽器の修理費を後援会から支払っていただきました。</p> <p>⑫チューバ、ユーフォニウムは演奏する管自体が大きくへこんでおります。ピストン自体も動かさず、大変厳しい状況です。</p> <p>⑬20%ほどの自己負担であれば、事業を実行します。</p>
	4	4月16日	まちづくり情報の発信推進事業(プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図る)	まちづくり吉川	-	1,099	1,000	<p>まちづくり吉川は、区内の地域振興・地域活性化の拠点としての役割を果たすと同時に、区内各団体の活動サービスの提供などに取り組んでいる。特に力を入れているのが住民への情報提供であり、毎月1回「まちづくり吉川」(総合事務所からのお知らせ版と併せ)を発行し、吉川区内の出来事等情報を各家庭に届けているが、現状はモノクロ印刷である。そのため、カラー印刷機器を設置し、鮮明な紙面にて情報提供することが大きな目的である。</p> <p>○実施内容 フルカラー印刷機を3年間のリースで導入し、4年目に残存価格で買取する計画。リース期間中は、一定量までのインク及びホットキス針が契約に含まれる。</p> <p>○実施方法 ・まちづくり吉川での使用の他、区内の7つの地域づくり会議で伝統行事継承等を共用できるように紙面での広報活動を構築するとともに、各団体へPRし、住民への利用促進を促す。 ・まちづくり吉川で使用料金を設定し、安価で利用できるように努める。 ①印刷する用紙のサイズに応じた価格を設定し、地域内各団体へ利用をPRする。 ②デモ機による利用方法等の説明会を開催する。</p>	<p>①事業の実施方法の中で、使用料金の設定し安価で利用できるように努める…と提案されていますが、試算はされていますか。</p> <p>②複数年度を想定した提案ですが、地域活動支援事業は翌年度以降の採択を保障していませんので、翌年度以降の事業費は自己負担になる可能性があります。リース終了後に買取とのこと、当然、最初から分割購入については検討したと思いますが、次年度以降、採択が得られなかった場合のリース経費をどのようにお考えですか。</p> <p>③理想科学工業㈱を選じた理由は何かですか。</p> <p>④事業の内容が備品の購入となりますが、最大のアピールポイントは何ですか。「各種地域活動への更なる支援」でしょうか。</p> <p>⑤区内の誰でも便利に使うことができるといえるように配慮されると思いますが、利用者と事務局の負担軽減として、プリペイドカードによる使用料支払いの仕様にできないでしょうか。</p> <p>⑥総合事務所にある製本機器を修理、整備して活用することはできませんか。</p> <p>⑦紙の時代ではなくなりつつある現在、経費削減(データ量、通信費、利用方法、提供方法)を考慮し、紙による情報提供ではなく、デジタルによる情報提供を推進することは考えられていませんか。</p> <p>⑧カラー紙による全戸配布である必然性はデジタル化によりなくなりつつあり、経費の増加につながりませんか。</p> <p>⑨運営予算が不足する中で会費の値上げを行った組織が、経費の増す事業を行うには無理があるのではないですか。</p> <p>⑩利用料によっては、地域で営業する店舗に影響を及ぼす結果になる可能性はないでしょうか。</p> <p>⑪今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①紙面の大きさごとの試算済みです。総合事務所、区内団体、コンビニ等での使用料金を下まわる使用料金に定める考えです。</p> <p>②上越市地域活動支援事業に採択条件が得られるか総合事務所から本庁へ伺いがなされ、採択できる事業と認定されています。(3年継続事業としての)30年度採択されたが次年度以降採択されないとは考えていません。もしそのようなことが起こるようなら、1年次からの取組はできません。</p> <p>③類似品の「エプソン LX-10000」と比較すると、保守契約が「専用インク代に含まれる」保守対応が「市内に保守拠点がある」「プリント速度が速い」等の利点があるため選択いたしました。</p> <p>④吉川区内の情報提供です。1. まちづくり吉川には、まちづくりカメラマンやまちづくり吉川ホームページアドバイザーがおります。いろいろな情報を区民の皆さんに届けます。2. 紙面の白黒写真をカラー写真とし、紙面のグレードアップを図ります。</p> <p>⑤当事業で整備された「住民組織」では、プリペイドカードによる利用がなされております。吉川区内の誰でもが利用できるようないたします。</p> <p>⑥私たちの希望は、総合事務所整備されることを望んでおります。具体的な整備計画があればお聞かせください。まちづくり吉川では利用させていただきたく、独自での整備は必要なくなります。</p> <p>⑦全く考えておりません。市の広報、議会報、JA、社協等の団体が発行する情報提供は、今後も紙ベースであるものと考えます。まちづくり吉川よりは高齢化が進む中、紙ベースで分かりやすく情報提供していくのが与えられた使命だと考えます。</p> <p>⑧高齢化の進む吉川区でのデジタル化は全く考えていません。経費の増加はあると思います。</p> <p>⑨数年前から市の補助事業は70%補助になりました。よって、体育祭、酒まつり等の補助残30%は、基金の取り崩しで行ってきています。このまま続けていく事になると事業運営が不可能となりますので、会費500円の値上げを行うものです。</p> <p>⑩吉川区内でそのような店舗はあるのでしょうか。実態調査はしてありません。</p> <p>⑪全事業に配分となった場合、補助率60%とお聞きしております。自己負担額が多くなった場合には、検討が必要となります。</p>
	5	4月16日	尾神岳サマーフェスティバル実施事業	吉川観光協会	-	1,128	970	<p>吉川区の観光振興事業の一環として、「サマーフェスティバル」を観光拠点の一つである尾神岳で実施し、吉川区のPRと一層の誘客を図るもの。</p> <p>若者に人気急上昇中の歌手「ラフベリ」のライブを中心に計画している。若者に人気の歌手を迎えることで、若者層の集客が図られることとなり、スカイスポーツへの関心を持ってもらうきっかけづくりにも着眼しつつ、尾神岳パラグライダー練習場を会場に行う。</p> <p>また、地元の「鼓舞衆」「百華踊乱よしかわ」「吉川おどり隊」等にも出演を依頼し、区内外の皆さんやお盆帰りの皆さんからもおいでいただき、盛大に実施したい。</p>	<p>①当日は自動車での来場が多くなると思うが、会場になるパラグライダー練習場の周辺に、十分に駐車場がありますか。状況によっては、スカイピア遊ランドからのマイクロバスでの送迎をできませんか。</p> <p>②今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①会場周辺の駐車スペースを有効利用させていただくと共に、遊ランドの駐車スペース等も利用させていただき、マイクロバス(運転手付)を借りて会場までのシャトル運行も計画しています。なお、これらの経費は本提案事業費が吉川区の上限(100万円)を超えているため関連経費として自己負担で予定しています。</p> <p>②本提案の事業費は1,127千円ですが、当協会でも何かと努力して補助金希望額を970千円(約86%)とすることで自己負担を既に約14%見込みました。また、この外にも①の関連経費や色々な経費(ゲストへの土産等)掛かることも想定しています。従って、この上更に補助金が下がればその金額の大きさにもなりますが、場合によっては事業が出来なくなることも考えられます。</p>

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
	6	4月17日	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	-	998	997	<p>源地区の三大枝垂れ桜のうち村屋の桜はH28年に行われた樹木医の治療後、初めて開花した。治療の成果が出た。</p> <p>一方、報恩寺の枝垂れ桜は、樹木医によれば衰弱しているものの治療を行えば大丈夫だという。三本の枝垂れ桜が元気になれば、見物客も多くなると思われる。吉川三大枝垂れ桜は長寿命な種類であり、治療することで何百年と生き続け、風格が増すとされる。</p> <p>(実施内容)</p> <p>(1)樹木医による治療(吉川三大枝垂れ桜報恩寺分)治療は専門性が高く樹木医が行うが、保全活動は団体が行う。</p> <p>(2)樹木医による治療報告(会員、希望者)治療報告を聞くことで、桜の知識を身につけ保全活動に役立てる。</p> <p>(3)三大枝垂れ桜の周囲の環境整備(会員、希望者)草刈り(6月、8月、10月)肥料やり(5月、11月)ひこばえの排除、胴吹き芽の排除(草刈り時)</p> <p>(4)他の団体(桜プロジェクト)の講習会に参加し、桜の知識を身につける。</p>	<p>①他の提案事業に比較して自主財源が少ないように感じましたが、他に財源確保の手立てはないでしょうか。</p> <p>②治療費が金額のみであり明細が不明です。次の事項を参考に、詳細を教えてください。①何処が、どのような状態だから②それに対して、何を、どれだけ、どのように使って③かかる材料と、量、時間、期間④その結果の確認方法と、事後処置⑤経過観察の方法とその費用は</p> <p>③費用対効果が見えないので、お示ください。</p> <p>④他の事例などがあれば、教えてください。</p> <p>⑤今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①吉川三大枝垂れ桜を守る会を充実し、広く会員を募集して会費を集める</p> <p>・今回初めて行ったことですが観桜会期間中桜保全基金を行う</p> <p>②桜の木及び支柱の木の腐朽が進み倒壊する状態</p> <p>・鉄管支柱製作し、桜を支える工事を行う</p> <p>・鉄管支柱材、支柱結束材、支柱基礎、作業人員(樹木医、造園工)、作業機械(コンボ、ユニック、トラック、チェーンソー等)</p> <p>期間桜の休眠期間11月初旬2日間</p> <p>・樹木医、会員による支柱と桜の接触部と桜の状態(翌年3月~12月)費用は樹木医の治療費の中に含まれている</p> <p>③上越市の観光パンフレットによれば、大きな枝垂れ桜は5本紹介されています。その内3本が吉川区にあります。今回報恩寺の枝垂れ桜を治療して元気にすることにより観光資源としての価値は充分有ると思います。</p> <p>④山梨県北杜市の山高神代桜、福島県の三春滝桜のように全国的に有名な桜があります。吉川三大枝垂れ桜はもちろん先に述べたほどの知名度は有りませんが、今回団体に観桜会に来られた方はこんな所に立派な枝垂れ桜が有るなんて知らなかったとおっしゃられた方がたくさんいらっしゃいました。</p> <p>⑤事業は行います。会員による資金の調達(会員負担と広く区内外に広く募金を募る)</p>
	7	4月17日	上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業(林家正蔵落語会)	夢をかなえる会	-	344	162	<p>①文化会館と連携することにより、吉川区だけではなく実現できないレベルの高い文化活動を開催することができる。</p> <p>②有名な落語家を吉川区にお呼びすることで、居ながらにして有名な方の芸に接することができる。</p> <p>・事業の内容/林家正蔵他若手落語家による落語会</p> <p>・事業の対象者/夢をかなえる会会員、吉川区内の市民</p> <p>・実施方法/11/17、午後7時より吉川コミュニティープラザ多目的ホールで開催。事前にチラシを作成し、新聞折込にて全区に周知し、チケット販売を行う。</p>	<p>①落語家林家正蔵に決定した経緯を教えてください。</p> <p>②落語家を招いても子どもは殆ど来ないのではないかとと思うが、本当に子どもたちの健全育成を期す内容となるでしょうか。</p> <p>③単に一芸人を招いてのイベントになってしまうのでは中身が薄く感じられます。更なるアピールポイントはありますか。</p> <p>④提案事業の補助希望額が事業費の半分程度となっており、提案団体の負担が重いとありますが、なぜ半分に設定されたのでしょうか。</p> <p>⑤継続事業として提案する団体や毎回提案している団体にお訊ねします。補助金のみでの事業実現ではなく、自己資金を用意する努力はされていますか。また、毎年申請するのではなく、隔年とするなどの努力はできませんか。</p> <p>⑥今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①当会の誕生した経緯や目的の中にコミュニティプラザの有効活用を図り、合併や過疎化に負けない地域を作りたいという思いがあります。</p> <p>・井の中の蛙的な活動をしては返って子供たちや地域住民に「ダサイとか田舎者」という印象を持たれてしまうため文化会館との連携を深めてきた経過があります。</p> <p>・しかし、毎回文化会館に出かけていだけではコミュニティプラザの有効活用を図ることはできません。吉川区内で質の高い文化的な催しや夢物語を作らなくてはならないと日々思っています。</p> <p>・そんな中、小山会長の発案で上越文化会館で高座を開催していた林家正蔵を吉川に呼べないかとの提案がされました。</p> <p>・上越文化会館と二年越しの交渉を行い格安価格にて出演の快諾を得ることができました。</p> <p>参考までに、当会では三遊亭白鳥、川柳つくし、古今亭ちよりん、たら福亭美豚、水都家艶笑などの高座を開催してきました。</p> <p>②夢をかなえる会の活動は「夢」をテーマに常に高校生以下無料で開催してきました。それは田舎に愛想をつかさず子供たちがいたとすれば、思いがあれば少ない人口でも質の高い文化的な活動ができる。つまり田舎でも質の高い生活ができるというメッセージを送り続けたいという思いからでした。ですから子供たちも含め多くの人たちの目に留まるように毎回全戸にチラシ折込を行ってメッセージを伝え続けてきました。</p> <p>・しかし、今までこれと言って目に見える形で効果をあげるまでには至っていません。まずは大人が関心を持ち、「無料だからお前行ってこい」という取り組みをしていたらればと思います。今回はその期待に十分応えられる内容になると思っています。林家正蔵がどれほど子供たちに知られているかは疑問が残りますが、とても有名な師匠ですので大人の方の認識が大切だと思います。</p> <p>・健全育成の講和的な話にはなりません、一流の落語から色々なことを学び取ってほしいと願っています。</p> <p>③ご指摘はごもっともでもう工夫が必要です。しかし、これと申し上げる事はできません。</p> <p>・単品で考えるのではなく文化会館との連携や10年間の活動継続の中で考えていただければ多少のアピールポイントになるかもしれません。</p> <p>・一般的にはあり得ない低価格の総予算を引き出したのは自慢できるアピールポイントかもしれません。</p> <p>④ここ数年補助をお願いしていますがバス代に限定して来ましたが、今回は事業費の半分以下でお願いしておりますが、その理由は今までと同じです。</p> <p>・全て又は高補助率をお願いして活動していた場合、補助がなくなった時は何も活動ができなくなってしまうからです。</p> <p>・限られた予算の奪い合い的な考えでは良いものは生まれにくいと思われます。極力自助努力を行う事によって限られた予算が多くの人に行渡りますし、夢をかなえる会自身の力も付き、無駄な支出が抑制でき、費用対効果率が上がり最終的には活動の継続ができると思います。</p> <p>⑤自己資金は用意しています。支出を抑制する努力もしています。</p> <p>・隔年申請という事も考えられますが、補助対象を限定したり補助率を低く提案するなど工夫していますのでご理解いただければと思います。</p> <p>⑥二年越しの計画であり本年度の他の事業を縮小したとしても今回の提案は実施します。慎重審議をお願いし、更なるご指導と共にご採択をお願い申し上げます。</p>
	8	4月17日	吉川町アマチュア無線クラブ レピーター機器更新事業	吉川町アマチュア無線クラブ	-	615	580	<p>・アマチュア無線を通じて情報の多様性を図る。</p> <p>・災害時、緊急時の連絡手段の補完機能として、アマチュア無線を活用し、情報の補完をする。</p> <p>・アマチュア無線愛用者の増大を図る。</p> <p>・レピーター機能の拡充と広域通信の拡大</p> <p>①上越地域のほぼ全域の通信をカバーしている尾神岳レピーターが老朽化しているため、更新するとともに、災害時、緊急時の連絡機能の補完機能として活用する。</p> <p>②地域の無線愛好家の交流により無線愛好者の拡大を図るとともに、災害時、緊急時を想定した通信訓練などを実施する。</p>	<p>①保有者(利用者)は何人位いますか。吉川区内の会員数はどの位ですか。また、上越市の会員数はどの位ですか。</p> <p>②過去に緊急時の通信訓練を実施したことはありますか。あるとすれば何回くらいですか。</p> <p>③現在の、停電時の電源であるバッテリーで、何時間対応が可能ですか。</p> <p>④審査項目に照らし合わせると、③以外の①、②、④、⑤は視点への合致が少ないと感じましたが、どうお考えですか。</p> <p>⑤尾神岳の設備の年間管理運営費は、どの位ですか。</p> <p>⑥発電機を運用する手順は、どのようになっていますか。誰が起動するのでしょうか。</p> <p>⑦クラブの会合は、年にどの程度行われていますか。</p> <p>⑧非常時の対応について、市とどのような対応、取り決めがありますか。(緊急時災害時の補完機能として認定されていますか。→メンバー登録、運用等はどのようになっていますか。)</p> <p>⑨今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①不特定多数のアマチュア無線愛好家、吉川区の当クラブの会員は11名です。上越市の会員数は把握していません。</p> <p>②通信訓練は平成元年開局当時から、数回行っています。365日、毎日通信エリアを各局確認し発信しています。</p> <p>③使用頻度によっても異なりますが、数時間の対応が可能です。現在の無線設備は自動で非常電源切替機能はありません。</p> <p>④コミュニケーション、情報伝達の手立てとして、活用し活性化に繋げる。</p> <p>⑤年間の電気代は約25,000円です、その他の、アンテナ、ケーブル、塗装等が7~10年で更新です。</p> <p>⑥停電時は東北電力より、会長へ連絡がきます。会長より担当者へ指示をして、発電機を起動させます。</p> <p>⑦年に3回行います。雪消えの時、夏、降雪の前などレピーターの保守管理を踏まえて、会員同士の親睦、技術向上、などです。</p> <p>⑧得に有りません、要請があれば協力します。当クラブには、緊急時通信の運用マニュアル規定が有ります。</p> <p>⑨補助額が希望額より、減額でも事業は行う。不足に関しては、各会員の負担、共同出資等の財源を確保して、事業を行う。</p>

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
9		4月19日	スカイスポーツ振興特別事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	-	751	700	<p>尾神岳エリアで年4回開催されているパラグライダー大会の内、上越市長杯と新潟県知事杯において、CM放送やインターネット配信等を通じて特に若者層へのPRに力点を置き、先々のスカイスポーツ振興につなげるとともに賑わいを創出するため次のことを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニーの実施 ・大会開会式(山頂パノラマハウス前)の時に、「鼓舞隊」、「百華踊乱よしかわ」、「吉川おどり隊」の皆さんから協力いただき、歓迎セレモニーを実施する。 ・大会の実況解説等の実施 ・プロの司会や解説者により、選手の紹介、大会内容、進行等を会場から実況放送し、大会を盛り上げながらPR度を高めていく。(特に選手間では好評となっている。) ・記録映像の撮影・収録 ・大会に係る映像を収録し、当日行われる交流懇親会時に上映したり、今後、特に若者をターゲットにしたパラグライダー事業等のPRにも利用できるような動画を制作する。 ・スカイスポーツの振興につながるPR等 ・インターネット配信(Youtube)等を通じ、日常的にスカイスポーツのPRを可能としていく。 	<p>①提案事業が天候不順等により実施できなかった場合、どのような対応を考えていますか。</p> <p>②継続事業として提案する団体や毎回提案している団体にお訊ねします。補助金のみでの事業実現ではなく、自己資金を用意する努力はされていますか。また、毎年申請するのではなく、隔年とするなどの努力はできませんか。</p> <p>③今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①本提案では、市長杯と県知事杯の各2日間の内、各1日ずつの計画であり選手が集まれば内容的には実施日の変更で実施できると考えています。また、両大会とも雨や強風で完全に実施不可能な場合は、別の3大会(今年から1回増の計画)に振り替えをお願いして実施したいと考えています。</p> <p>②自己資金が乏しい組織ではありますが、本申請では少しでも(約7%)自己資金を捻出して行う予定で提案しています。更に、当日は申請した事業に連動して、実況放送の内容等をゴール地点(坪野ランディング又は下町等)での画像放映等も検討しています。また、過去2回の取り組みの成果として、5月26・27日の市長杯における選手のエントリー申込み者数も定員(80名)を上回ったため、特例として85名の定員に変更していただきました。本事業では、「賑わいを創出」しこれまでの内容を発展させ、尾神岳エリアを選手の口コミやインターネット等を介して全国にPRを広げるため、そしてこの好機を逃さないためにも、隔年ではなく是非とも本年実施させていただきたい。</p> <p>③②で記載のとおり、申請時に自己負担(7%)を計上し、また、関連した独自事業(約20万円)も想定していることなどから、更なる大きな負担が伴うようであれば、場合によっては提案事業の実施が困難になることも考えられます。</p>
10		4月19日	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	-	812	772	<p>1 長峰城址景観整備 長峰城址本丸遺構(土塁・空堀等)の特徴的な部分1か所の樹木伐採 ・伐採規模 南西やぐら台跡～空堀底面</p> <p>2 長岡城・大胡城関係団体との交流事業 ・長岡開府400年記念事業への参加 ・牧野氏まつり、前橋四公祭への参加</p> <p>3 長峰城址見学会 ・上越近隣の研究者を講師に招き、長峰城の歴史と特徴について理解を深める。</p> <p>4 じっくり安全見学コースづくり、長峰城の美化・魅力向上事業 ・長峰城登り口の安全ロープの張替え、休憩ベンチ2台の設置 ・雪割草の植栽継続</p>	<p>①今後の整備年次計画があれば、ご提示ください。</p> <p>②上越市の文化、歴史遺産として登録申請を考えてはいませんか。</p> <p>③吉川区としてではなく、市としての事業に提案を勧める意思はありませんか。</p> <p>④継続事業として提案する団体や毎回提案している団体にお訊ねします。補助金のみでの事業実現ではなく、自己資金を用意する努力はされていますか。また、毎年申請するのではなく、隔年とするなどの努力はできませんか。</p> <p>⑤今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①急斜面のために大きな経費がかかる景観整備事業は、今年度の南西やぐら台周辺の樹木伐採をもって完了する予定です。次年度以降は、交流事業や啓発事業(パンフレット、標識、見学会・講話会等)、魅力向上事業等のソフト事業に引き続き取り組む予定です。事業費としては景観整備事業がなくなりますので、現在よりもかなり小規模になる見込みです。一過性のブームで終わらせることなく、今後も息の長い着実な活動を積み重ねたいと考えています。</p> <p>②保存会としても上越市文化財の指定をめざしています。保存会の発足当初から、上越市教育委員会文化行政課に出向いてそのお願いをしております。昨年の見学会には担当係長様、学芸員様の参加を得まして、「想像していたよりも土塁や空堀が大規模だ」との感想をいただいております。また、今冬の出前の地域協議会の際にもそのお話をしたところ、山岸副会長様からは市文化財指定関係資料を取り寄せていただき感謝をしております。上越市文化財の指定めざして、地域協議会の皆様のお力添えを賜ればと思います。</p> <p>③市の相応しい事業があれば積極的にご提案をしております。どのような事業があるのかを含めて研究をしております。</p> <p>④町内会全戸で組織している保存会の年会費は、通常の維持管理や支援事業対象外経費等に充当しています。今後は自己資金の確保方法・手順等についても検討していきたいと考えています。隔年申請についても検討してまいります。</p> <p>⑤今年度の事業は、長峰城のメインでもある南西やぐら台周辺の景観整備とともに、開府400年事業への参加を中心としております。景観整備にあたり、その一角に国有地があることから国の機関である新潟財務事務所へ出向いて、樹木伐採のご理解をいただけてきました。また、長岡市の開府400年記念事業実行委員会からレセプションと記念式典のご案内をいただいております。このようなことから、今年度は何としても提案事業を実施させていただきたく切に要望いたします。しかし、残念ながら希望補助額を下回った場合には寄付金を募るなどして、提案した事業につきまして何とか実施したいと考えております。</p>
11		4月19日	長峰町内会花いっぱい運動事業	長峰町内会	-	47	47	<p>1 マリーゴールドの種子まき、育苗管理 4月下旬にボランティアが中心となり種子まき 育苗は分担する</p> <p>2 植え付け場所づくりとマリーゴールド苗の植え付け 5月中旬に市道脇の植樹枠内の場所づくりを行い、6月には苗を植え付ける。なお、公民館にはプランターに植え付けるものとする。植え付けは子ども会・老人会等にも呼びかけて、全体作業として行う。</p> <p>3 植え付け後の除草、水やり等の管理 ボランティア中心の作業。除草は全体作業を1回予定する。</p> <p>4 ピオラの種子まき、育苗、植え付け 9月初旬にピオラ種子まき、育苗を行い、マリーゴールド跡地に11月～12月に植え付ける。</p>	<p>①単年花でしょうか。</p> <p>②樹木の植栽はお考えですか。</p> <p>③町内会単独として、実施する意思はありませんか。</p> <p>④今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①単年花です。より多くの参加者を募り意味合いから種まきを行い、芽だしを行って苗とし植え付けを行います。</p> <p>②現在考えておりません。今回の計画においては、公民館周辺と団地内歩道の植込み部分を計画しており、団地内歩道の植込みにおいては植樹より20年以上を経過したことにより枯れてしまっている樹木のなくなってしまった植込みを考えているため、管理がしづらく同様の結果が推測される樹木は考えていません。又、計画内容主旨に反することから、</p> <p>③あります。</p> <p>④行います。</p>
12		4月20日	ゲートボール競技会等運営事業	吉川ゲートボール協会	-	721	282	<p>①ゲートボール協会の運営及び進行がスムーズに実行できる。</p> <p>②小学校のクラブ活動における指導をやりやすくする。</p> <p>③ビギナーズスクール時の指導に活用する。</p> <p>④ゲートボール大会を実施することにより、市内及び県内より訪れる参加者による宿泊や地域物産の消費に貢献できる。</p> <p>以上の目的達成のため、放送機器の整備を行う。</p>	<p>①放送機器の電源は4電源仕様となっておりますが、GBは屋外活動が多く、通常電源の確保が困難と思います。蓄電源の能力はどのくらいでしょうか。連日の使用に耐えられる内容でしょうか。</p> <p>②機器をゲートボール協会が保持しなければならない理由は何ですか。</p> <p>③レンタルでは対応できませんか。</p> <p>④各大会実行施設(ゆつたりの郷、遊ランド他)には音響機器が整備されているかと思うので、それを活用することはできませんか。</p> <p>⑤今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①乾電池は単2タイプ10本使用致します。連続使用で10時間位使用できます。</p> <p>②協会主催の競技会や予定外の講習会、会議でも手元があればいつでも使用したい為です。</p> <p>③レンタルはその都度使用料がかかります。レンタル料金1日いくら掛かるか調べた事がありますが吉川協会では負担出来ません。</p> <p>④両施設も設備がありますが高性能で我々には簡単に使用することが無理でした。特に、ゆつたりの郷では現在ゲートボール場では使用していないようです。また、簡単な機器も1台ありますが能力が低く便利には利用できません。</p> <p>⑤吉川ゲートボール協会は会員会費で運営しているため財源不足で高額の自己負担は出来ません。地域活動事業の申請は今年1回限りです。お隣の柿崎ゲートボール協会は昨年自己負担で設備されたと聞いております。是非認めてください。</p>

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
	13	4月20日	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進(継続事業)	原之町町内会	-	853	852	<p>・歴史文化的資産の保存と地域住民に過去の生活、文化、風景、町並みなど次世代に伝承するために整備(デジタル化)し吉川区内の住民で歴史の共有化をするため。</p> <p>・原之町八幡布団店(明治、大正期には写真店)が中越沖地震で崩壊した土蔵を取り壊した際に、撮影された乾板ガラスが500枚以上見つかり、貴重な資料であるため、原之町町内会の宝として保存するための事業に取り組むもの。</p> <p>①乾板ガラスの画像をデジタル化し、いつでも再生できるようにして、吉川区内町内会のコミュニティ活動に資するため、必要に応じて展示の貸出しも行って活用を図る。</p> <p>②町内会の子ども会、小中学校の生徒にふるさとの原風景を鑑賞して、歴史の偉大さを知る一助とする。</p> <p>③区内、町内の老人会の皆さんには古き良き時代を思い出の機会になる。</p> <p>④区内で開催される各イベント、学校の教育資料、福祉まつり、生涯学習フェスティバル、文化祭などに活用する。</p> <p>⑤地域の中に眠っており、やがて捨てられてしまうであろう映像や記録を収集し保存、再生し管理を行う。</p>	<p>①昨年度の実績をかつまんで教えてください。</p> <p>②他の提案事業に比較して自主財源が少ないように感じましたが、財源確保の手立てはないでしょうか。</p> <p>③継続事業として提案する団体や毎回提案している団体にお訊ねします。補助金のみでの事業実現ではなく、自己資金を用意する努力はされていますか。また、毎年申請するのではなく、隔年とするなどの努力はできませんか。</p> <p>④今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①町内会の主催の会合、各団体の開催されるイベントに町内の歴史写真を展示して、多くの皆様に感動を得たと思っている。</p> <p>②厳しさを増す町内会財源が課題である。この事業の取り組みによって、町内会の予算を多く使用する事は、他の事業に影響を与える可能性があるため、中止の検討も必要であると思う。</p> <p>③補助金のみでの事業は考えていない。他の事業も実施する場合に自己資金の積立などは考えていない。</p> <p>④高齢化など取り巻く環境は様々な課題が多くなっている。その他世帯数の減少など今後ますます厳しさを増す財政運営(町内会の賦課金)のため自己負担が増す場合には次年度以降の検討を考えている。</p>
	14	4月20日	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業	川谷もよりの将来をみんな考える会	-	925	750	<p>老朽化により利用が落ち込んでいた交流施設「静山荘」をリフォームし、新たな発想で地域の魅力を体験してもらいイベントを企画し、当地域への移住者を積極的に呼び込む拠点として活用する。</p> <p>地域の最重要課題である「集落機能及び農地の維持」を担う新たな住民を呼び込むことは地域活性化に直結する。また、地域住民でイベントを手作りすることで、自ら地域の魅力を再認識・創出する機会とする。</p> <p>○交流施設「静山荘」のリフォーム</p> <p>①トイレの改修</p> <p>②浴室シャワーの設置</p> <p>③台所の改修</p> <p>④布団の整備</p> <p>○イベントの企画・運営</p> <p>交流を目的とするイベントに終わらせず、楽しいことも大変なこともひっくるめ、「川谷で暮らすこと」、「川谷で農業をすること」、「川谷で仕事をつくること」の3テーマを一緒に感じ、考えてもらうイベントとする。</p> <p>①ブナの森の湧水&天空の棚田で米作り</p> <p>②川谷流・冬のサバイバル術を楽しむ</p>	<p>①施設管理者(所有者)は誰ですか。</p> <p>②公民館的な施設であれば協議、相談は地縁団体にするべきではないですか。</p> <p>③宿泊できる施設ですか。</p> <p>④静山荘利用回数は年5回とありますが、費用対効果は得られるのでしょうか。</p> <p>⑤設備強化により、管理経費の増加が予想されますが、維持管理は可能ですか。</p> <p>⑥今回は提案事業数も多く、また皆さんからの補助希望額も吉川区への配分額を大きく上回っています。そのような中、全事業に配分となった場合、希望の補助額を大きく下回る可能性があります。団体の自己負担が発生、または増額した場合であっても、提案があった事業を行いますか。</p>	<p>①合併前の吉川町時代に、地域に無償譲渡された施設です。</p> <p>②これまで、公民館的な使い方はしてきておりません。法政大学や棚田オーナーといった都市交流の拠点として主に使用してきました。また、①で申し上げましたとおり、昨年度より4町内会での一つの組織である当会が運営責任を負っております。</p> <p>③宿泊を目的とする許可申請は行っておりません。あくまで交流施設として、利用者の自己責任において滞在も可能ということとなっております。自炊、寝泊まりはできるような構造、設備になっており、備品もあります。</p> <p>④年5回を計画いたしましたのは当会主催のイベントです。それ以外にも今までのように、都市交流や、住民の親類知人、地区出身者等も利用いたします。年々、利用頻度が落ちてきたこと、利用料金2,000円を据え置いてきたために、現在の利用数では赤字でした。利用数を増やしつつ、現状に見合った利用料金設定を考え、今回の改修後2,000円→2,500円くらいの値上げを検討しております。また、当施設の独自採算性を重視しつつも、いっぽうで「移住者を獲得する」という大目標がございます。費用対効果としては、この施設を利用したイベントで、どれだけ移住者を獲得できるかも重要と考えております。</p> <p>⑤利用数を増やすことで、維持管理体制を整えます。また今までガスを使っていた台所を灯油ボイラーで浴室と統一し、ランニングコストを抑えます。利用料の値上げもいたします。</p> <p>⑥行います。</p>
			配分額(単位:千円)	5,700	差引	△ 3,322	10,360	9,022		



平成30年5月10日

(宛て先) 上越市長

(吉川区総合事務所総務・地域振興グループ)

団体名 竹直町内会

代表者 小田 倭平



上越市地域活動支援事業の提案取下げについて

平成30年度上越市地域活動支援事業に提案した竹直地区公共交通待合所を起点とする集落活性化事業について、提案を取下げます。



吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ